

※※掲載しているイベント・休館日などの情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて中止または変更になる場合があります。最新の情報は図書館ホームページをご確認ください※※



中央図書館 Tel 24-1507

【5月の休館日】

1 日 月・3 日 火～5 日 水・8 日 月・15 日 月・22 日 月・25 日 火 (整理休館日)・29 日 月
イベント情報、資料検索・予約は図書館HPで▶



雑誌棚前ケースの展示が変わりました

◀復刻版▶明治～昭和前期のベストセラー！

▶図書館に長年保存されていた書籍の復刻版を展示しました。貴重本につき、貸出・閲覧はご遠慮ください。

【主な展示書籍】(出版年は当時のものです)

- 『吾輩は猫である』／夏目漱石 (明治 38 年 10 月)
- 『お目出たき人』／武者小路実篤 (明治 44 年 2 月)
- 『悲しき玩具』／石川啄木 (明治 45 年 6 月)
- 『あらくれ』／徳田秋聲 (大正 4 年 9 月)
- 『すみだ川』／永井荷風 (大正 4 年 9 月)
- 『生れ出る悩み』／有島武郎 (大正 7 年 9 月)
- 『たけくらべ』／樋口一葉 (大正 7 年 11 月)
- 『蟹工船』／小林多喜二 (昭和 4 年 9 月)
- 『放浪記』／林芙美子 (昭和 5 年 7 月)
- 『晩年』／太宰治 (昭和 11 年 6 月)



◆こども図書館

(午前 10 時 30 分～)

6 日 土 おはなし玉手箱

11 日 火 ひよこのおはなしかい

20 日 土 むかしむかしのおはなし会

◆郷の本棚やさど図書館

(午後 2 時 30 分～)

13 日 土 おはなしフレンズ



時の記憶

シリーズ 214

「鹿の子遺跡出土・平瓦転用砥石」

圖文化振興課 (支所)

TEL 43-1111 (内線 1456)

現在、ふるさと歴史館では鹿の子遺跡の成果について展示を行っています。今回は展示遺物の中から、「平瓦転用砥石」を紹介いたします。

瓦とは本来は屋根に葺き、雨露をしのぐ、建物を立派にみせるなどの用途があります。ところが、実際に発掘調査をしているとカマドの補強材として使用されるなど二次的に利用されることもよくあるようです。

そんな瓦の再利用の方法の一つとして砥石があります。砥石は字のごとく通常は石が用いられ、鉄製品の仕上げに使用されます。今回紹介している転用砥石は平瓦で、成形時に表面を縄で叩いた痕跡が残ります。これは内部にある空気が焼成時に膨張し、破損することを防ぐために行うものです。これが砥石として使用された結果、瓦の表面が磨り減っていることから砥石として転用されたことが分かるのです。

ふるさと歴史館第32回企画展

「鹿の子遺跡群―古代の巨大鍛冶工房―」

期間／7月2日(土)まで開催中

場所／ふるさと歴史館(総社1-2-10)

休館日／月曜日(祝日の場合は翌日)

文芸いしおか

いしおか俳句同好会

直立の昭和のポスト山笑う
幸せはここぞと決める初音かな
「母上」とはじまる手紙桃の花
和やかや祖母に輩花見莫座

やさと俳句会

さざ波に惜しむ命や桜貝
空の色地上に落ちて犬ふぐり
芹摘むや流れに指の冷たさも
散策の親子三代山笑ふ

いしおか川柳会

やりくりに対策を練る物価高
踏んばればどうにかなるさ人生は
猫かぶり怒ってる友見てしまう
ごみ置き場朝のクラスと行き違い

石岡俚謡会

待ちに待ってる 陽春近い 老いた猫にも 光射す
春の日差しを 豊かに浴びて 清く流れる 恋瀬川
月が昇った 東の空に 寒さ忘れて 開けた窓
積もる話は 山ほどあった 友の遺影に 涙ぐむ
心優しく 吹く春風が 梅の香りを 乗せて来る
打ったボールが 転がる坂を 追って逃げられ わめく孫
冬の満月 夜明けを照らし 筑波山へと 落ちてゆく
凜と古木に 梅一輪が 春のよろこび うたってる

投稿作品

母親の味噌汁の味思い出し短歌が趣味の母を偲ぶ日
三年前の新人社員マスクが取れてあなた誰

一色 しのぶ(総社)
小池 つと夢(貝地)
森 まさえ(東光台)
若色 茂(山崎)

越智 旅舟(太田)
中島 れい子(部原)
岡野 素泡(柿岡)
國谷 南風(瓦谷)

桜井 紀美子(青田)
助川 浩史(府中)
関 きみ子(柿岡)
醍醐 正夫(東大橋)

田村 こまくさ(鹿の子)
秋野 もみじ(南台)
見明 節子(若宮)
助川 浩史(府中)
篠原 美千代(国府)
前島 くに子(貝地)
小川野 蛙(府中)
石塚 芳華(石岡)

鈴木 直樹(山崎)
原田 光男(石川)

文化協会だより

第43回 「いしおか子ども劇場」

子ども劇場は、子どもたちの豊かな成長を願い、身近な場所で、プロの舞台芸術鑑賞や遊びなどの文化的な体験の機会を作っています。

昨年は、石岡ハーモニーネットからの誘いを受け、企画・運営を協働し「パントマイム鑑賞会」を開催しました。公演は、プロの技を観るだけでなく、パントマイムを体験するなど、親子の笑顔が広がるひとときとなりました。他団体との協働事業は、今後の活動の在り方を考える貴重な機会にもなりました。

いしおか子ども劇場の活動に関心のある方は気軽にご連絡ください。

〒いしおか子ども劇場
Tel 090-7949-7972 (川俣)

